

研修に関する Q&A 塚本 真由

Q1 自己紹介、留学時期、研修先、勉強内容

看護学科 3 年 塚本真由

2 月下旬から 3 月上旬の 2 週間ちょっと

アメリカ オハイオ州 フィンドレー大学

欧米の看護学科の授業に参加したり、幼稚園、小学校、中学校、病院数カ所、ナーシングホーム (老人ホームの様な施設) などの施設見学をしたり、プレゼンテーションを行った。

ホームステイも 2 泊 3 日行った。

Q2 研修参加の志望動機

英語もプレゼンテーションも苦手であったため、克服するのにいい機会だと思ったため。

日本と異なるアメリカの価値観、世界観を実際に触れてみたかったため。

Q3 研修準備をし始めた時期

2 年の前期テスト後

Q4 研修準備で大切なこと/県大内で準備すべきこと

プレゼンテーションの内容、資料の準備

英語をワールドカフェに通って、プレゼンテーションや自己紹介の用紙の英文法を確認すること

また、ニックとランチをしながらリスニング、スピーキングの練習をすること！

Q5 研修費用はいくらかかったか。出発までの準備費用と研修中の費用

補助金が 11 万円もらえたため、実質 20 万円ほど

飛行機 14 万、福井東京間往復 3 万、アメリカの大学へ 12 万、その他 (保険料、お土産、準備費など)

Q6 準備する上で障害だったこと、どうやって乗り越えたか

後期のテストもある中で、プレゼンテーションを準備することが難しかった。

費用は自己負担であったが、前もって貯金していた分があったため、それで賄った。

Q7 研修が始まってから大変だったこと

まだ準備ができていないプレゼンテーションを、3 人で 1 人のパソコンを使い寮で準備すること

パソコンがなかなか Wi-Fi につながらなかったことやプレゼンテーションの原稿のコピーができなかったこと、そして文法直しが大変だった。

Q8 日本の大学との違い、どんな刺激を受けたか

欧米の学生達は、積極性があり、先生の質問には学生は自ら答えていた。授業のメモはパソコンを使っている人が多くいた。また大学がとても広く、勉強スペースが多く自由な感じがした。

Q9 交友関係はどうだったか

今年日本にくるはずだった学生と仲良くなることができた。また、ホームステイ先の人とも、拙い英語であったが、楽しい時間が過ごせた。Wi-Fiの問題を助けてくれる学生と仲良くなることができた。

Q10 もう一度研修をやり直せるならどのようにしたいか

もう少しリスニングになれてからいきかかったと感じた。

欧米の人はスピーキングのスピードが早く、初め、何言っているかわからない状態であった。

また、自己表現ができるくらい話せることができた方がより楽しい生活が送れたらと思う。

Q11 就職活動で研修経験をどう活かしたいか/活かしたか

欧米で学んだ積極性の大切さを大事に、就活に取り組んでいきたいと思う。

英語でプレゼンテーションをしたことで、いかに自分の考えを伝えるかが大切であることがわかったため、その気持ちを忘れずに、取り組んでいきたいと考える。

Q12 研修したい学生達にメッセージ

ハードスケジュールでしたが、とっても楽しい時間でした。もっとアメリカにいたいと思うくらいでした。いい刺激がもらえます。ぜひ参加して、自分の目で確かめに行ってください。分からないことがあれば是非聞いてください。

